



## 閉塞性肥大型心筋症に対する経皮的な中隔心筋焼灼術の長期成績

1998年1月1日から2031年12月31日までに閉塞性肥大型心筋症に対して経皮的な中隔心筋焼灼術をお受けになった患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「閉塞性肥大型心筋症に対する経皮的な中隔心筋焼灼術の長期成績」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、1998年1月1日より2031年12月31日までに日本医科大学付属病院循環器内科にて、閉塞性肥大型心筋症に対して経皮的な中隔心筋焼灼術を受けられた患者さんの臨床的特徴を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：閉塞性肥大型心筋症に対する経皮的な中隔心筋焼灼術の長期成績  
研究期間：研究実施許可日～2045年12月31日  
研究責任者：日本医科大学付属病院 循環器内科 時田 祐吉

### (2) 研究の意義、目的について

本研究の目的は、我が国の閉塞性肥大型心筋症に対して経皮的な中隔心筋焼灼術を行った患者さんの予後を検討し、その特徴を明らかにすることです。本邦における経皮的な中隔心筋焼灼術を考えるにあたり以下の問題点が存在します。①経皮的な中隔心筋焼灼術は限られた施設でのみ行われており、この治療の日本人における効果の報告が限定されていること。②経皮的な中隔心筋焼灼術の長期の治療効果について検討した報告が限られていること。このような背景から、これまで豊富な治療経験のある当施設で閉塞性肥大型心筋症に対して経皮的な中隔心筋焼灼術を行った患者さんの長期予後を検討し、その特徴を明らかにすることは有用であると考えられることから研究を行う事としました。

### (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

1998年1月1日より2031年12月31日までに日本医科大学付属病院循環器内科にて、経皮的な中隔心筋焼灼術を受けられた患者さんの自覚症状の改善や検査結果、生命予後などを解析し、自覚症状の変化と心エコーによる左室内圧較差の有無・程度、心血管イベントの有無および内容（期間中の生死、心不全入院歴）についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：血液

情報：年齢、性別、自覚症状、心エコー図検査、血液検査結果、入院歴、生命予後等

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 循環器内科 助教・医員 松田 淳也  
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5  
電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：27495  
メールアドレス：jun1984087@nms.ac.jp